

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

今年のお正月は例年ほど寒くなくてうれしく思っていたのですが、最強寒波の影響でぐっと寒くなってきた今日この頃です。

みなさまは、お元気でいらっしゃいますか。

2017 年は酉年ということで、年末年始にはケンタッキーフライドチキンのCMが頻りに流れていました。「クリスマスにはケンタッキー」が定着し、日本ではチキンを食べる事が定番になったように、酉年のお正月にはチキンを食べるのも、いつかは定番になるのかしらと、ぼんやりと考えていました。12年に一度では難しいかな…。

「土用の丑の日にうなぎを食べる」習慣は、平賀源内が仕掛けたという説が有名です。夏のうなぎは味が落ちると聞いてもなお、暑くなってくると無性に食べたくなるものです。

毎年たくさんの広告が出て、ほとんどは忘れ去られていく中で、新たな習慣が生まれ、時代を超えて長く定着するというのも面白いことですね。

十二支の発祥は中国の殷の時代（紀元前 17 世紀から紀元前 1046 年）に由来し、元々は木星の位置を知るために使われていました。木星は 12 年かけて天球を一周するため、木星の軌道を 12 分割しそれぞれに一字ずつ漢字を割り当てたとのこと。元は動物の意味はなかったのですが、庶民が覚えやすいように、身近な動物を当てはめたとされています。今となっては十二支を意識するのは年末年始くらいですが、時刻や方角を表すのにも干支が使われていた頃は、もっと生活に密着していたのだらうと思います。

酉という字は、酒を醸す器の象形文字で、「酒」「酢」「酸」など発酵に関する字に用いられます。また、酒を抽出する状態や成熟した状態をあらわすため「実る」という意味もあります。

また酉を五行にあてはめると「金」となり、物事ははっきりさせるという性質から、隠していたことが明らかになったり、曖昧にしていたことに白黒決着がついたりするそうです。

腐敗と発酵は、どちらも微生物によって分解されるという意味では同じ事で、人体に有害となる物質が生成されれば腐敗と呼ばれ、人に役立つ物質が生成されれば発酵と呼ばれるそうです。人間の都合次第ということですね。

熟成させていたものが、美味しく発酵したのか腐ってしまったのか、成果がわかるのが酉年なのだろうとおもいます。もしも意図した通りの成果でなくても、他の分野では役立つかもしれないし、経験を活かして次は上手くいくかもしれないので、成功・失敗の概念を超えて、出来上がったものをしっかり吟味するというのもポイントのような気がします。

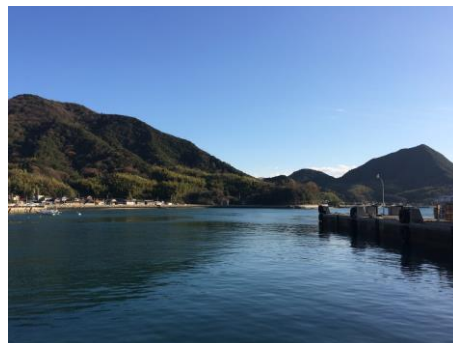
また「終焉と始まりの年」ともいわれています。何かが終わったとしても、その事に意気消沈せず、新しいスタートをきるというのが良いそうです。

他にも「トリ」の語呂から「運氣を取り込む・お客様を取り込む」という縁起や、鶏が夜明けの訪れを告げることから「新しい時代の訪れ」という風にも解釈されています。アメリカのトランプ政権発足、イギリスの EU 離脱など、新しい時代の訪れもたしかに来ているようです。

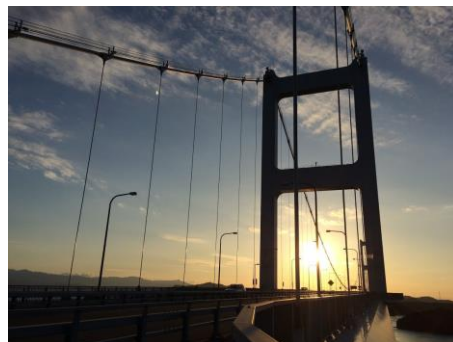
まだ始まったばかりの酉年ですが、新しい時代の風が、やさしくあたたかで心地よい風になります様、みなさまにとって喜びあふれる毎日になります様にお祈り申し上げます。

2017 年も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

まだしばらくは寒さもつづくでしょうが、どうぞご自愛くださいませ。



とてもいいお天気の大みそかでした。



来島海峡大橋から眺める海。波は穏やかですが、潮流の早さが自慢です。



2016 年の締めくくり、美しい夕日に魅了されました。